



ブシュロン、シャルロット・ル・ボンを ブランドアンバサダーに起用



2025年11月、フランスを代表するスタイリッシュなハイジュエリーメゾンであるブシュロンは、シャルロット・ル・ボンをメゾンのブランドアンバサダーとして迎えることを発表しました。俳優・映画監督・アーティストとして活躍するシャルロット・ル・ボンは、独自の視点で世界を捉える芸術的感性を通じて、ブシュロンのDNAと響き合い、現代的なエレガンスを纏います。

カナダ・ケベック出身のシャルロット・ル・ボンは、2010年にパリへ移住し、ローラン・ティラールやジャリル・レスパールなどの監督作品に出演。その後、ラッセ・ハルストレム、ロバート・ゼメキス、ショーン・エリスらとともにアメリカでも活躍の場を広げました。彼女は常に挑戦的でユニークな役柄に挑戦し、刺激的なクリエイターとの協働に魅力を見出します。

アーティストとしての彼女は、絵画、ドローイング、リトグラフ、アナログ写真など多様な手法で、非日常的な世界を探究します。祖母フランソワーズ・ピロンから油絵を学び、アイデアに応じて表現手法を選ぶ創作スタイルを確立。知覚やビジョンに形を与えることで、観客との繋がりを生み出しています。彼女の作品には、意識的にも無意識的にも自然の要素が息づいており、光と闇の緊張感、そして人間の規範から逸脱した野性が表現されています。

シャルロット・ル・ボンとブシュロンのCEOであるエレーヌ・プリ＝デュケンは、今回の就任について次のようにコメントしています。

「ブシュロンは、そのクリエイションを通じて大胆さと自由を体現しているメゾンです。これは私が日々大切にしている価値観でもあります。このメゾンのアンバサダーに就任できることは、私にとって大きな誇りです。」

シャルロット・ル・ボン

「シャルロットをブシュロンファミリーの一員として迎えられることを大変嬉しく思います。初めて彼女に会った瞬間、そのポジティブなエネルギー、ユーモア、そしてオプティミスティックな姿勢に心を打たれました。彼女はまさにメゾンの精神を体現する存在です。映画とビジュアルアートを横断する創造性や鋭い現代的感性は、私たちの大胆で革新的なジュエリーのビジョンと見事に重なります。このパートナーシップは自然な流れであり、私たちの価値観を共有し、自らの本質を真摯に表現する人物を讃えるものです。」

ブシュロン CEO エレーヌ・プリ＝デュケン

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で90以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。